

## 江府町 地域おこし協力隊 通信

今年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。着任して1カ月が過ぎましたが、江府町に来てどんな感想をいただいたのでしょうか。今月号も、江府町の地域おこし協力隊員の活動を報告します。

### 今月号のテーマ 「日々、感じたこと」

#### 農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき  
西嶋 俊明

初任の8月は、コロナ自粛を終えたあと、11日火曜日から仕事に就いています。早速、農事組合法人宮市の米糶の製造工程を学びながら、大豆・そば畑の見回りや苗箱洗いなど、松本さん（元・江府町地域おこし協力隊）のご指導を仰いでおります。

先日、道の駅奥大山へのご挨拶のときに、「大山スイカ」という珍しいスイカを見つけたので、親しい人などに送りました。

ところで、最近よく見かけるバッタが、海外で農作物を荒らしている“サバクトビバッタ”によく似ていて、農作物への被害がないか少し気がかりです。

引き続き、いろんな勉強をさせていただきます。よろしくお願いいたします。



なぜ  
大山スイカ？  
もしかして  
サバクトビバッタ？



#### ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき  
阿部 将樹

先月の着任から、早くも1カ月が経過しました。主に「国語」を担当していますが、その他の教科を教える機会もあり、日々学生時代の復習の繰り返しです。

学習支援の他に、8月11日（火）・12日（水）の2日間、作家・大学教員の方々をお招きして特別講座を開催しました。生徒たちは、ワークショップ・異文化交流を通じ、学力向上は勿論、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力等、様々な能力を身に着けました。

また、「縁側」では体験を通じた探求学習も行っています。生徒一人ひとりの興味関心や進路、学校で行っている「課題研究」等の学習テーマに合わせて、講師3人が生徒に寄り添い、対話しながら伴走をしています。

実際に勤務してみると、自分の予想以上に分からないことだらけで、自分自身も日々勉強ではありますが、縁側が高校生にとって良い場になるように、今後も頑張っていきます！



▲特別講座の様子